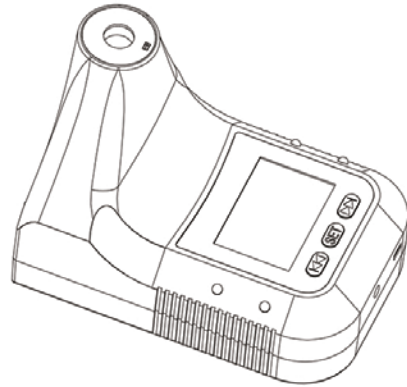
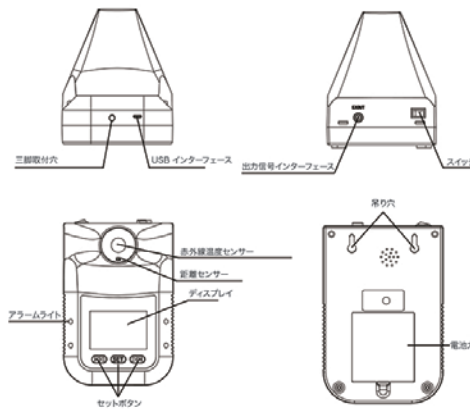


赤外線温度計ユーザーガイド



Model: K3 Pro

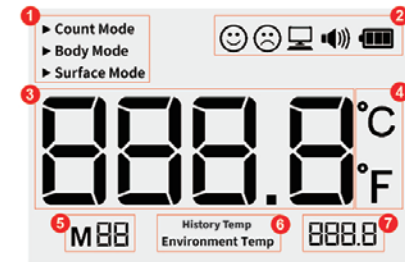
1. はじめに



2.仕様

1. 精度: ±0.2度 (35~42°C、設置し使用する前に30分間置いてください)
2. アラーム機能: 異常自動アラーム、約10秒間のフラッシュ+サウンドアラーム
3. 測定距離: 5cm~10cm
4. ディスプレイ: LCDディスプレイ
5. 伝送インターフェース: USB Type C
6. 対応可能な電源: 単三電池4本(外部電源と内部電源) 供給を切り替えることができます
7. 取り付け方法: フック、ブラケット固定
8. 環境温度: 10°C~40°C(推奨15°C~35°C)
9. 測定範囲: 0~50°C
10. 応答時間: 0.5秒
11. スタンバイ: 非稼働時間中の30秒の自動スタンバイ
12. 入力: DC 5V 500mA
13. 重量: 303g
14. 寸法: 170X115X140mm
15. カウント容量: 9999回

3.表示の説明

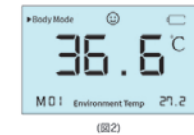
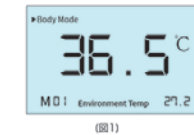


1. 作業モード: カウントモード、ボディモード、サーフェスモード。
2. ステータス表示: 式、USB接続ステータス、音量、電源。
3. 測定結果: 温度状態またはカウント状態。
4. 温度単位: 摂氏または華氏。
5. 設定項目または履歴レコード: "M"は履歴レコード番号を示します。"F"は設定項目番号を示します。
6. 履歴温度または環境温度。
7. 環境温度ステータス。

4.状態の説明

1. スタンバイ:
バックライトがオフになり、
温度は表示されません。(図1)

2. 不十分な電力:
ディスプレイはバッテリーが
空になり、アイコンが点滅します(図2)



3. 常温:
両側に緑色のライトが点滅



4. 異常温度:
両側に赤いライトが点滅



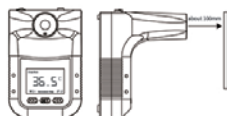
5. 範囲外(ボディモード)
"Lo": 摂氏35度よりも低温(図5)
"Hi": 摂氏42度よりも高温(図6)



5.操作説明書

1. 温度測定:

温度計の正面、5~10cm以内に近づきます(図7)



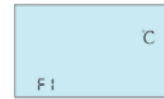
2. 履歴温度クエリ:

左右のボタンを押して履歴温度を開きます。"M"は現在の履歴温度を表示します。デバイスは現在、最大30の履歴温度をサポートしています。



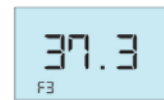
3. 温度単位設定: (温度単位設定)

SETボタンをF1に押し、左右のボタンを押して摂氏と華氏を切り替えます。C: 摂氏 F: 華氏



5. アラーム温度設定:

SETボタンをF3に押し、ボディモードのアラーム設定になります。左右のボタンを押して、アラーム温度を37.0~38.0に切り替えます。デフォルトは37.3°Cです。
注: アラーム温度はボディモードでのみ有効です。



7. バックライト設定:

SETボタンをF5に押し、バックライトの設定状態になります。左右のボタンを押して、バックライトをオンまたはオフにします。
オン/バックライトをオンにします
オフ/バックライトをオフにします



9. 出力信号設定:

SETボタンをF7に押し、左右のボタンを押して出力信号の種類を切り替えます。S1はスイッチモードを表し、S2はV/I/スモードを表します。出力信号の詳細については、出力信号のユーザーガイドを参照してください。



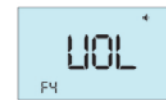
4. モード設定:

SETボタンをF2に押し、左右のボタンを押して作業モードを切り替えます。



6. 音量設定:

SETボタンをF4に押し、音量設定状態になります。左右のボタンを押して音量を調節します。小さいスピーカーの後ろの音量が多いほど音量が大きくなり、小さいスピーカーが消えるとミュートになります。



8. 言語設定:

SETボタンをF6に押し、左右のボタンを押して音声設定の言語を切り替えます。
JP: 日本語 EN: 英語

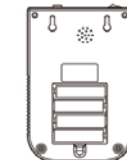
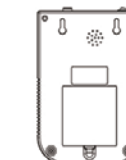


10. USB接続:

タイプC USBケーブルでコンピューターに接続し、コンピューター上のソフトウェアを開くと、デバイスに接続して、測定結果をリアルタイムで保存できます。詳細な手順については、ソフトウェアのユーザーガイドを参照してください。

11. 電池の取り付け:

バッテリーカバーを開き、電池の極性に応じて取り付けます。

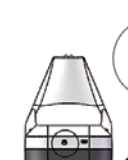


単三電池4本

12. 取り付け方法: フック or ブラケット



1. ネイルフック



2. ブラケット

6. 警告

1. デバイスが正常に動作できるように環境を確認してください。
2. 動作環境を変更する場合は、デバイスを30分程そのままにしておく必要があります。
3. 服を体温計に近づけて測ってください。
4. 屋外で使用する場合は直射日光を避けてください。
5. エアコンやファンなどに近づけないでください。
6. 安全性が確認できるバッテリーをご使用ください。
液漏れ、サビ等安全が確保されていないバッテリー、または充電式バッテリーを使用しないで下さい。火災や爆発の原因となることがあります。